

令和2年1月10日
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
特定非営利活動法人 Art's Embrace
国立大学法人東京藝術大学

「知らない境地を『面白がる』」
第10回 TURN ミーティング 開催
令和2年2月2日(日) 手話通訳・文字支援付き

TURN

Meeting No. 10

2020年2月2日(日)

知らない境地を「面白がる」

上田假奈代

詩人

「こえとことばとこころの部屋 cocoroom」代表



鈴木励滋

生活介護事業所「カプカプ」所長
演劇ライター

アートプロジェクト「TURN」の可能性について考え、語りあう「TURN」ミーティング。

10回目の今回は「言葉」から見出す多様性、そして新しい境地との向き合い方について語り合います。

生活介護事業所「カプカプひかりが丘」の所長を務める鈴木励滋さんは、併設した喫茶店「喫茶カプカプ」にて、地域の高齢者や障害者たちが自然と混ざり合う場づくりを担ってきました。詩人の上田假奈代さんは、大阪の釜ヶ崎で「こえとことばとこころの部屋 cocoroom」を立ち上げ、日雇い労働者や旅行者などが集うカフェやゲストハウスの運営を行っています。地域に根ざしたコミュニティスペースで、お客さんとスタッフの緩やかな関係性が生み出される場を仕掛けてきた鈴木さんと、「詩」を紡ぎ出す活動を続ける上田さん。ちょっとした声かけや言葉、また仕草や距離感から表される「言葉」を大切にすることに、その人らしい表現や多様性を見出す秘訣があるかもしれません。

また、トークの合間に、マダム ボンジュール・ジャンジさんによる読み聞かせパフォーマンスも行いますので、ぜひお楽しみください。

■開催概要

- ・タイトル: 第10回 TURN ミーティング
- ・日時: 令和2年(2020年)2月2日(日) 13:30~16:30 (開場 13:00)
- ・会場: 東京藝術大学音楽学部5号館1階109教室 (東京都台東区上野公園12-8)
- ・入場: 無料 ※事前申込不要、手話通訳・文字支援付き
- ・登壇者: 鈴木励滋(生活介護事業所「カプカプ」所長、演劇ライター)、上田假奈代(詩人、NPO法人こえとことばとこころの部屋 cocoroom 代表)、日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
- ・モデレーター: 藤原ちから(批評家、「orangcosong」アーティスト)
- ・パフォーマー: マダム ボンジュール・ジャンジ(ドラァグクイーン)
- ・主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学

■当日のスケジュール

13:00	開場、受付
13:30	開会の挨拶
13:35～14:10	キーノートトーク① ～「喫茶カプカプ」で生まれる関係性～ 登壇者:鈴木励滋(生活介護事業所「カプカプ」所長、演劇ライター)
14:10～14:45	キーノートトーク② ～「ココルーム」から生まれる言葉と表現～ 登壇者:上田假奈代 (詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋 cocoroom 代表)
14:45～14:55	休憩
14:55～15:15	パフォーマンス パフォーマー:マダム ボンジュール・ジャンジ(ドラァグクイーン)
15:15～16:15	クロストーク～「言葉」から見出す多様性～ モデレーター:藤原ちから(批評家、「orangcosong」アーティスト) 登壇者:鈴木励滋、上田假奈代、日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
16:15～16:30	2020 年における TURN の展開 登壇者:日比野克彦、森 司(TURN プロジェクトディレクター)

■ゲスト



鈴木励滋(すずきれいじ)

生活介護事業所「カプカプ」所長、演劇ライター。

1973年3月群馬県高崎市生まれ。1997年から現職。1998年には横浜市旭区のひかりが丘団地商店街で「喫茶カプカプ」を、2009年には斜向かいに「工房カプカプ」を開店。演劇に関しては『ユリイカ』、『月刊ローソンチケット』、劇団ハイバイのツアーパンフレットなどに書いている。『生きるための試行 エイブル・アートの実験』(フィルムアート社、2010年)や『季刊ピーブルズ・プラン』にも寄稿。師匠の栗原彬(政治社会学)との対談が『ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える』(学芸出版社、2016年)に掲載された。



©村山 康文

上田假奈代(うえだかなよ)

詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋 cocoroom 代表。

1969年奈良県吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読を始める。1992年から全国で詩のワークショップを手がける。2001年「詩業家宣言」を行い、2003年新世界フェスティバルゲートで、喫茶店のふりをしたココルームを立ち上げ、「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりを探る。2008年から大阪市西成区に位置する釜ヶ崎とよばれる地域で「インフォショップ・カフェ ココルーム」、2012年に、まちを大学に見立てた「釜ヶ崎芸術大学」を開講。「ヨコハマトリエンナーレ 2014」に釜ヶ崎芸術大学として参加。2016年春に移転し「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム」を開く。2014年度、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。



藤原ちから(ふじわらちから)

批評家、「orangcosong」アーティスト

1977年、高知生まれ。横浜を拠点に国内外の各地を移動し、アーティスト、批評家、キュレーター、ドラマトウルクとして活動。「見えない壁」によって分断された世界を繋ごうと、遊歩型ツアープロジェクト『演劇クエスト』を横浜、城崎、マニラ、デュッセルドルフ、安山、香港、東京、バンコクで展開してきた。住吉山実里と2019年にアートコレクティブ orangcosong を結成し共に活動する。2017年度よりセゾン文化財団シニア・フェロー、文化庁東アジア文化交流使。



© Leslie Kee

マダム ボンジュール・ジャンジ

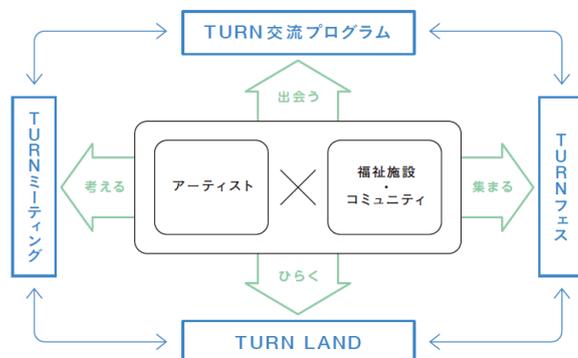
Female Drag Queen、パフォーマー。あらゆる境界線を超えたキラキラした世界を願い、「YES! Future」と謳い続ける。1997年より交歓の All Mix Party「ジュシー！」を主宰。主な作品「HIG たいそう」「Living Together/STAND ALONE」他。新宿二丁目にある HIV をはじめとするセクシャルヘルスに関する情報センター&フリースペース「コミュニティセンターakta」センター長。

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

【TURN とは】

TURN は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が 2020 年に向けて、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として展開しており、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学と実施しています。また東京 2020 公認文化オリンピックでもあります。

TURN は、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN 交流プログラム」と、TURN の活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURN ミーティング」と「TURN フェス」の開催によって広くその意義を発信します。



■TURN を創り出す 4 つのプログラム

TURN 交流プログラム

アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人々が時間を重ねて交流し、共働活動するプログラム。また、社会や日常で意識化されていない課題への気づきを目的としたアーティストによるリサーチも行います。

TURN LAND

福祉施設や団体が、アーティストとともに参加型のプログラムを企画します。場所の持つ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURN を日常的に実践する場をつくります。

TURN フェス

TURN 交流プログラムや TURN LAND を実施する多様なアーティストや交流先の活動が一堂に会するフェスティバル。作品展示やワークショップ、トークイベント、オリジナルプログラム等を通して、TURN を体感します。

TURN ミーティング

TURN の可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先などの関係者とともに、各分野で活躍するスペシャルゲストを招き、様々な視点から TURN を考察します。



- ・ 監 修：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・ プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020 年の東京を文化の面から盛り上げるプログラムを「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として展開しています。 <https://www.artscouncil-tokyo.jp>

<本リリースに関するお問い合わせ>

TURN 運営本部 Tel: 03-3824-9039 (10:00-17:15 土日祝日を除く)
E-mail: info@turn-project.com

